

かんごぶ〜だよい

★ 防災クロスロード研修

災害対応ゲーミングクロスロードとは、阪神―淡路大震災で、災害対応にあたった神戸市職員のインタビューをもとに作成されたカードゲーム形式の防災教材です。

「クロスロード＝Crossroad」とは、「岐路」や「分かれ道」のことです。このゲームは、判断の難しい課題に対しYes・Noで回答し、互いの考えを共有することで、自分と異なる意見や価値観に気づき、防災意識を高めることができます。



熊本地震を経験した私たちは、被災直後のパニック状態の中で混乱し、咄嗟に判断した行動は、「これでよかったのか?」と、不安を感じた人も少なくないでしょう。

判断する選択には、大切な家族や守るべき職責のいずれかを選択せざるをえないケースも考えられ、何が正しい行動なのか、だれもが迷うことだと思います。「参加して良かった。高齢の母を一人残し職場に行くことが使命だと思っていた。今、その場で自分にできる行動をとることも大切な選択だと思った。」との言葉もありました。自分の身近の**共助**を実践することも重要だと思います。

多くの人の意見を聴き、感じた思いを語り合うことも大切なことで、「起きたらどうしよう」と不安を抱くより、日頃から今度起きたらこうしよう、「私は～する。」「私達、家族は～する。」と災害時の集合場所や備えについて決め事を話し合っておくことも必要なのかもしれません。

担当：唐田・杉本・下田



地震直後の災害から身を守るためには、自ら守る「自助」はもちろん、近隣の人々が助け合う「共助」が極めて重要だといわれています。

酸素は外れてない。
痰が、たまっている
のかなあ。

ティッシュ落ちてますよ。
気づくかな?

「組織が求める看護師像」

「あなたでよかった」と思われる看護師の1つである、**社会人基礎力を身につけ、気くばり・目くばり・心くばりができる看護師**に近づけたか、この研修は自分の行動を確認できますが、研修以外にも、皆さんが気遣いや接遇ができていないか、日頃の行動をモニターすることにしました。どうです?あなたが今モニターされているかもしれませんよ。

★ リフレクションパートII研修

対象は、卒後2年目18名。模擬患者役の斎藤・田尻主任がナースコールを押して「看護師さん息苦しいです」でスタート。訪室するとモニターのアラームが鳴っています。さあ、あなたはどのような判断と行動をとりますか? この研修では、ビデオ撮影された映像や研修生同士のディスカッション、指導者からのフィードバックで気づきを深めていきます。研修生にとっては、ドキドキの研修ですが、すでに現場に活かしていることを期待しています。清水SMには、心電図や酸素飽和度のモニター設定やビデオ撮影にご協力いただきありがとうございました。

研修担当者 (吉田・西田・斎藤)